

御木本幸吉生誕150周年記念事業を開催します

今年は、真珠王・御木本幸吉翁の生誕150年を迎える記念すべき年です。幸吉翁がこれまで残してきた功績は、わたしたちにとって誇れるものであり、鳥羽から全国・全世界へと発信できるものです。

生誕150年という節目をきっかけにして、世界の真珠王の功績をもう一度考えてみませんか？

そんな思いから、「人間・御木本幸吉」にスポットを当てたさまざまな記念事業を開催します。

御木本幸吉生誕150周年記念事業実行委員会
(事務局 農水商工観光課観光戦略室)

■1157



写真提供：ミキモト真珠島

【記念式典の開催】
「希望ある人間はどこか輝かしいものを持っている」
この幸吉語録には、夢と希望を持ち、それに情熱を燃やして努力を惜しまないような人生觀を持つていれば、いくつになつても若い心を持続け、夢と希望を抱いて輝くこ

生誕150年という記念すべき今年を契機に、御木本幸吉という人物像にスポットを当て、彼が持つ文化的・人間的な面を勉強しながら、持続性のある事業展開を図ります。

郷土愛の醸成を目指して

【記念講演「桂三枝師匠・中村名譽館長座談会】
また、養殖真珠発明100周年の際に、「夢いちもんめ・真珠王御木本幸吉物語」という創作落語を発表したり、愛知万博では鳥羽市観光協会と一緒になつて「世界真珠婚式」を開催したりするなど、鳥羽にゆかりの深い桂三枝師匠をお招きし、「御木本幸吉」をテーマにした座談会を、鳥羽水族館の中村幸昭名譽館長の聞き手により開催します。

【市民演劇】
また、鳥羽春まつりなどでも活躍いただいている、市民劇団「かたらづか劇団」による歌あり笑いあり涙ありの市民演劇を開催します。ここで至る幸吉翁の半生をどのように表現できるのかが見もので



天然真珠が三重県で500gしか採れなかつた時代に、御木本幸吉翁は真珠養殖に成功し、「世界の真珠王」と呼ばれるまでになりました。

かの発明王・エジソンにも、「ダイヤモンドと真珠だけはどうすることもできなかつた」と言わしめた鳥羽の偉人をこれからも大切にし、その功績や人柄、そして真珠という文化を鳥羽のために活用させていただき、今一度、郷土愛や地域振興を深めていきたいと考えています。

生誕150年という記念すべき今年を契機に、御木本幸吉という人物像にスポットを当て、彼が持つ文化的・人間的な面を勉強しながら、持続性のある事業展開を図ります。

【出前トーク】
「小学生の手本になりたい」小学生が持つ純粹な目と、未来あふれる若さにはかなわないと思っていた幸吉翁は、「小学生がこわい」と恐れる一方で「わしの理想は小学生の手本になることだ」とも言つていました。人間として理想の生き方は、子どもたちに対して堂々と誇りの持てる生き方であるといえるでしょう。このことから、市内3か所程度の会場で、ミキモト真珠島真珠博物館の松月清郎館長を講師に、市民のかたがた(特に小中学生)を対象とした出前トークを開催します。

トークの中では、テキストやアニメーションを交えながら、楽しく幸吉翁の功績を伝えていきます。

記念事業の開催にあたつて

とができるという思いが込められています。

長生きをして世のために尽くさねばならないと思い続け、

天然真珠が三重県で500gしか採れなかつた時代に、御木本幸吉翁は真珠養殖に成功し、「世界の真珠王」と呼ばれるまでになりました。

天然真珠が三重県で500gしか採れなかつた時代に、御木本幸吉翁は真珠養殖に成功し、「世界の真珠王」と呼ばれるまでになりました。

かの発明王・エジソンにも、「ダイヤモンドと真珠だけはどうすることもできなかつた」と言わしめた鳥羽の偉人をこれからも大切にし、その功績や人柄、そして真珠という文化を鳥羽のために活用させていただき、今一度、郷土愛や地域振興を深めていきたいと考えています。

生誕150年という記念すべき今年を契機に、御木本幸吉という人物像にスポットを当て、彼が持つ文化的・人間的な面を勉強しながら、持続性のある事業展開を図ります。

【出前トーク】
「小学生の手本になりたい」小学生が持つ純粹な目と、未来あふれる若さにはかなわないと思っていた幸吉翁は、「小学生がこわい」と恐れる一方で「わしの理想は小学生の手本になることだ」とも言つていました。人間として理想の生き方は、子どもたちに対して堂々と誇りの持てる生き方であるといえるでしょう。このことから、市内3か所程度の会場で、ミキモト真珠島真珠博物館の松月清郎館長を講師に、市民のかたがた(特に小中学生)を対象とした出前トークを開催します。

トークの中では、テキストやアニメーションを交えながら、楽しく幸吉翁の功績を伝えていきます。

学校教育への活用のために

【出前トーク】

「小学生の手本になりたい」

小学生が持つ純粹な目と、

未来あふれる若さにはかなわ

ないと思っていた幸吉翁は、「

小学生がこわい」と恐れる一

方で「わしの理想は小学生の

手本になることだ」とも言つ

ていました。人間として理想の生き方は、子どもたちに對

して堂々と誇りの持てる生き

方であるといえるでしょう。

このことから、市内3か所

程度の会場で、ミキモト真珠

島真珠博物館の松月清郎館長

を講師に、市民のかたがた(特

別に小中学生)を対象とした出

前トークを開催します。

トークの中では、テキスト

やアニメーションを交えながら、楽しく幸吉翁の功績を伝

えていきます。

また、鳥羽春まつりなどで

も活躍いただいている、市民

劇団「かたらづか劇団」によ

る歌あり笑いあり涙ありの市

民演劇を開催します。ここで

は、真珠養殖を成功させるに

至る幸吉翁の半生をどのように表現できるのかが見もので

地域振興のために

【ベンチャー塾】

「十年もかかりたる仕事ゆえ、花の咲き方大なり」

それに向つてひたむきに取り組んでいくことで、その喜びは成果とともに必ずやつくるという幸吉語録です。地域振興も同じで、将来を見据えた地道な取り組みがあつてこそ、持続可能な地域となつていくことでしょう。

このことから、市教育委員会が中心となり取り組んでいる人材育成講座「地球塾」とのタイアップにより、幸吉翁の商魂や商法を学ぶベンチャーワークを開催します。

【その他】

御木本幸吉ゆかりの地を歩く「幸吉ウォーク」を開催し、鳥羽に残る魅力ある風景や土地を訪れます。

社員と開いていた「どんぶり会」にちなんだ鰻丼を昼食に

食べたり、おやつの時間には日和山にあつた茶屋にちなんで三色団子をぶるまつたりと、鳥羽の魅力を存分に楽し

みたいと思います。また、幸吉翁が生涯愛した



鳥羽の風景のように、みんなが旅で出会った風景や思い出、さらには感動や季節の料理などを絵手紙にしていただき、コンテスト形式で作品を募集します。幸吉語録と併せてカレンダーなどの商品にし、幅広く配布していくります。

- ● ● ●

今回の記念事業では、このような楽しいイベントをたくさん予定しています。みなさんにも、幸吉翁の残した功績を再認識していただきつかけにしていただけたらと考えています。

これから、記念事業公式ホームページやリーフレットなどを作成しながら、より細かな内容を随時発信していきますので、ぜひご覧ください。心からお待ちしています。

実行委員会事務局（農水商工観光課観光戦略室）へ問い合わせてください。

こんな記念イベントを企画しています！

●出前トーク

とき：10月～

ところ：市内各所（3か所）

内容：市民のみなさんを対象として、幸吉翁の残した功績を知りたいため、ミキモト真珠島・真珠博物館の松月清郎館長を講師に出前トークを開催します。

●記念式典（記念講演）

とき：11月7日（金）

ところ：ミキモト真珠島

内容：鳥羽にもゆかりの深い落語家の桂三枝師匠を招き、鳥羽水族館の中村幸昭名誉館長の聞き手による記念講演のほか、幸吉翁の生誕を祝う記念式典を開催します。

●幸吉ゆかりの地ウォーク

とき：11月中

ところ：市内

内容：幸吉翁ゆかりの地を歩いて訪ねるウォーキング。昼食時には鰻丼を食べたり、三色団子の振る舞いがあつたりと、食のゆかりにもこだわったイベントです。

●ベンチャー塾（地球塾公開講座）

とき：10月18日（土）

ところ：鳥羽市民文化会館

内容：人材育成講座「地球塾」公開講座として、幸吉翁の「商魂・人材育成・夢・人生観」などについて、地球塾講師があもしろくお話します。

●かたらづか劇団 御木本幸吉生誕150周年記念劇「輝きに魅せられて!!」

…その時、歴史をうごかした…

とき：11月30日（日） 13:30開場 14:00開演

ところ：鳥羽市民文化会館・大ホール

内容：鳥羽春祭りなどでも活躍している「かたらづか劇団」により、幸吉翁と愛妻うめとの半生を感動的に「かたらづか」の団員（全員女性）が演じていきます。

●絵手紙コンテスト

とき：期間中

ところ：市内

内容：みなさんが愛する鳥羽の風景や、旅先での感動などを絵手紙で表現してください。優秀作品は、幸吉語録と併せたカレンダーにします。